

今後の抗議デモへの注意喚起(8月31日)

令和7年8月31日(DPS 総25第40号)
在デンパサール日本国総領事館

1. 先程、外務省からスポット情報が発出されところですが、8月29日以降、ジャカルタ、スラバヤ、マカッサルをはじめインドネシア各地において、政府や警察に対する抗議デモが過激化しており、政府・議会関連施設への放火などにより死亡者も出る事態となっています。
2. 8月30日にはバリ州においても大規模な抗議デモが発生し、投石などにより被害が発生したほか、西ヌサトゥンガラ州マタラム市内では地方議会関連施設が放火されるなどし、大きな被害が出ています。
3. デモ参加への呼びかけが SNS 等で確認されており、今後、このような情勢が長期化する可能性がある他、自然発生的に抗議デモが始まるなど、突発的に発生する可能性もあります。現時点では、いつ、どんな抗議デモ、暴動が発生しても不思議ではなく、抗議デモに乗じた破壊行為や略奪行為の恐れも十分に考えられます。
4. 今後、抗議デモの発生が予想される場所は以下のとおりです。
 - ・地方政府や議会の関連施設
 - ・警察施設
 - ・多人数が集合する広場、公園、運動場、公共施設、商業施設 など
5. 不要不急の外出は控えるとともに、抗議デモには近づかないようにして自らの安全を確保し、興味本位で見物に行ったり、状況を撮影するなどの行為は自身に対する危険性を高めるので行わないでください。現場付近に限らず、周囲の地区に影響を与える可能性がありますのでご注意ください。
6. 引き続き抗議デモの情報収集に努めいただき、遭遇した場合には速やかに現場から離れるようにしてください。また水、食料、ガス、車の燃料等の備蓄を検討して下さい。
7. 当地への渡航を検討されている方におかれては、事前に現地の最新情報の収集に努めるなど、十分に注意してください。
8. 当館は通常通り開館しておりますが、ご自身の安全を考えて来館時には十分ご注意下さい。万が一、臨時閉館となる場合は領事メールでお知らせいたします。(了)